

小国町について

- ・人口:約7,500人
- ・面積:136.72km²
(森林率:約80%)
- ・主な産業:農林業、観光業



ジャージー牛乳加工品



パワースポット「鋼ヶ滝」

エネルギーの地産地消

「地熱」や「バイオマス」を活用し、エネルギーを地域で供給することで、効率的なエネルギーの活用と農林業の活性化を図る。

豊富な**地熱**と**森林資源**を活かした地域振興



小国町わいた地区



優良木材市

低炭素化事業

農業

林業

観光業

(地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想)

「木の駅」プロジェクト



出荷日には、軽トラが長蛇の列を作る



集まった薪が燃料に

合言葉は、「軽トラとチェーンソーで晩酌を！」

平成27年3月から始まった「木の駅」プロジェクト。

山林所有者や森林ボランティアは林地残材や間伐材など有効活用されていない森林資材を「木の駅」に出荷し、その対価として地域通貨「モリ券」を得る。この券は、町内の加盟店で利用可能。もちろん、晩酌代にもなる。

集められた資材は、平成28年2月に町内の温泉施設に導入した木質(薪)バイオマスボイラーの薪燃料として活用。同ボイラー導入前(H27.4)と導入後(H28.4)の重油量を比べると、14分の1になった。

また、平成28年熊本地震発生時には、備蓄の薪で沸かした温泉を無料開放し、多くの避難者に喜ばれた。

